



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 12月園だより

平成30年11月28日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>

いちにちどうぶつむら



「見立て」と「つもり」の集大成

園長 新井 智子

いつの間にか季節は冬を迎えました。白金台幼稚園の森は、紅葉し、落葉し、大地に溶け込むような色彩に変わっています。その園庭で子どもたちの豊かな遊びが展開されています。ステージができてショーを繰り広げていたり、木の実や葉を使って、楽器にしたりお店屋さんに変えたり。いくつかの遊びがつながって、ダイナミックな総合的な場が広がることもあります。さながら、園庭は「街」のように賑わい、考えたり、つくったり、友達と関わったり、時にけんかしたり、と、園庭は小さな社会を形成しています。ここでは、子どもたちがものがあるものに「見立て」たり、「〇〇のつもり」になったりして、たっぷりとごっこ遊びを楽しんでいます。「ここ消防車なの。今ね、火事だから消しに行くの」と消防士のつもりになって、火事に見立てた場所を消火して遊んでいる子。コックさんのつもりで、葉っぱをピザに見立ててタイヤのかまどに入れて遊んでいる子。この「見立て」や「つもり」のごっこ遊びがとても大切なことです。想像力や創造性につながることはもちろんのこと、疑似体験を通して、人と関わることを学び、「やりたいこと」をする満足感や充足感を得ます。また、未知の社会に適応するための実験であったり、様々な世界を身近に理解するための予行練習になったりするのは。遊びの中に多くの学びがあります。

さて、12月は年長組の「わくわく発表会」があります。子どもたちが意欲的に活動に取り組んでいます。この発表会は、年長組の3年間の生活や遊びで経験してきたことの集大成になります。ごっこ遊びの延長の姿かもしれません。本物らしく見立てられるように、本物のつもりになって演じるように、話も、せりふも、役決めも、大道具や衣装も子どもたちが主体的に決めてつくっていきます。一人ひとりが同じ目的に向かって気持ちを合わせ、頑張っています。当日、創意あるのびやかな表現が披露できることを心より願っています。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 自分の思いを言葉や動きに表しながら、友達と同じ場で関わって遊んだり、自分の動きを楽しんだりする。
- 学級の友達と簡単なストーリーを動きにしてみたり楽器でリズムを打ったりし、伸び伸びと表現することを楽しむ。
- 衣服の調節や使った物の片付けなど、生活に必要なことが分かり、自分で取り組む。

4歳児

- 自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の話を聞いたりしながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分なりにめあてをもって遊びに取り組み、繰り返し試したり工夫したりする。
- グループでの当番活動など、自分たちの生活に必要なことに自分から取り組んでみようとする。

5歳児

- 発表会に向けて考えを出し合ったり、互いのよさに気付いたりしながら活動を進め、やり遂げた達成感や一体感を味わう。
- 遊びや活動の中で自分なりにめあてをもち、挑戦したり繰り返し取り組んだりする。
- お楽しみ会や大掃除などを通して、年の暮れの雰囲気を感じ、新しい年を迎える準備をする



